■ 指定管理者制度導入施設　年度評価シート ■

評価年度	令和5年度

1　基本情報

公の施設名	相模原市立星が丘デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人上溝緑寿会
指定期間	令和４年４月１日～令和７年３月３１日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に関与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地　：相模原市中央区星が丘４－９－１　星が丘住宅１階 延床面積：４３１．６８㎡（機械室除く） 主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室 構造　　：鉄筋コンクリート造 開所時間：午前８時３０分から午後５時まで 休所日　：日曜日及び年末年始（１２月３０日から１月３日まで） 定員数　：２５名
施設所管課	健康福祉局　地域包括ケア推進部　高齢・障害者福祉課

2　管理実績

項目（単位）	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
利用者数合計（人）	5,612	4,923	5,106	5,787	
うち要支援１（人）	92	26	0	10	
うち要支援２（人）	457	376	372	363	
うち要介護１（人）	1,009	1,246	1,510	1,579	
うち要介護２（人）	1,762	1,855	1,508	1,859	
うち要介護３（人）	1,364	587	993	1,484	
うち要介護４（人）	811	723	553	256	
うち要介護５（人）	117	110	170	236	
介護保険事業収入（円）	54,386,640	47,387,987	50,881,260	56,077,354	

3　成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	・事業の実施状況の達成度は、84.1%であり、評価基準により「C」評価とした。 ・前年度と比較して、大幅に利用率が上昇しており評価できる。

指標１

指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数÷（１年間の営業日数×利用者定員数） ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位）	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
目標値（%）	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（%）	72.6	64.1	66.1	76.1	
達成度（%）	80.2%	70.8%	73.1%	84.1%	0.0%

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になる。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となり、令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整している。

4　事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	・事業の実施状況の達成度は108.33%であり、評価基準により「A」評価とした。 ・前年度に引き続き、利用者の機能面や体力面での低下を受け、外出や軽食創作活動などを積極的に取り入れたことは評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
（なし）			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
機能訓練外出 （①桜見学、②バラ見学、③紫陽花見学、④バラ見学、⑤初詣、⑥梅見学、⑦市立博物館）	①4/1 ②5/15－20,22,23,26 ③6/19－24,26 ④10/26－28,10/30－31 ⑤1/18－19,1/22－24,27 ⑥2/24,26－29 ⑦3/26－30	①上溝本町の庭園の桜、蔵を見学、散策した。1日間で参加利用者人数15名。 ②相模原北公園へ外出した。公園散策と同時にバラを見学した。計9日間で延べ利用者数48名が参加。 ③麻溝公園へ外出した。公園散策と同時に紫陽花見学をした。計7日間で延べ利用者数42名が参加。 ④相模原北公園へ外出した。公園散策と同時にバラ見学をした。計5日間で延べ参加利用者数37名が参加。 ⑤亀が池八幡宮を参拝した。計6日間で延べ参加利用者数40名が参加。 ⑥相模原北公園へ外出した。公園散策と同時に梅園を見学した。計5日間で延べ参加利用者数40名が参加。 ⑦市立博物館へ外出した。館内の展示物の見学した。計5日間で延べ参加利用者数43名が参加。	○
軽食創作活動 （①苺のケーキ、②チョコバナナケーキ、③スイートポテト、④ロールケーキ、⑤三色蒸しケーキ・桜餅）	①5/8－10 ②6/1－3 ③11/16-18 ④11/27-29 ⑤3/7-9,19,20,25	①ホットケーキミックスで生地を創作し苺のカットやデコレーションを各々の方に行っていただいた。計3日で延べ利用者数62名が参加。 ②材料を測ったり切ったり小グループで協力し創作した。計3日間で延べ利用者数57名が参加。 ③サツマイモの皮むき、蒸し作業、つぶし作業など6名程度のグループで分担作業で創作する。計3日間で延べ参加利用者56名が参加。 ④生地の焼き作業や巻き作業を行い好きなフルーツをトッピングしていただく。計3日間で延べ参加利用者56名が参加。 ⑤生地には好きな色を付け自分好みの色の組み合わせで創作していただく。計6日間で延べ参加利用者113名が参加。	○

演奏会 （①二胡、②ギター、③二胡、④アコースティックギター、⑤二胡、⑥ギター、⑦二胡、⑧ギター、⑨ギター、⑩二胡、⑪ギター、⑫ハーモニカ、⑬ギター）	①5/30 ②6/6,28 ③6/29 ④8/28 ⑤8/30 ⑥11/10,14,20,23 ⑦11/30 ⑧ 12/2,6,8,25,28,29 ⑨1/12,16,25,31 ⑩1/17 ⑪2/2,8,12,17,20 ⑫2/15 ⑬3/6,12,15,23	①③⑤⑦⑩ボランティアの方の二胡演奏に合わせて合唱する。計5日間で延べ利用者104名が参加。 ②⑥⑧⑨⑪⑬フォークギター演奏に合わせ歌詞カードを見ながら歌う。計25日間で延べ利用者473名が参加。 ④アコースティックギターを使用し唱歌や歌謡曲を皆で合唱する。計1日間で利用者20名が参加。 ⑫ハーモニカボラの演奏に合わせ合唱する。計1日間で利用者18名が参加。	○
機能訓練行事（流しそうめん）	7/20-22	施設内から屋外へ流れるように竹を設置し、季節感を味わいながら指先運動、歩行の運動などを行う。 計3日間で延べ利用者60名が参加。	○
納涼祭	8/17-19,21-23	輪投げ、コイン落とし、射的、すいか割りなど昔ながらの遊戯を行い、盆踊りを2～3曲職員と共に利用者、ご家族（1組）も参加。計6日間で延べ利用者数117名が参加。	○
敬老祝賀会	9/18-20,22-23	施設において敬老祝辞、記念品の贈呈、集合写真撮影を行う。　計6日間で延べボランティア24名　延べ利用者数105名が参加。	○
運動会	10/12-14,　16-18	施設において開催した。パン取り競争、大玉転がし応援合戦など競技へ参加した。計6日間で延べ利用者118名が参加。	○
年忘れ会	12/14-16,18-20	民謡、よさこいなどボランティアによる演芸鑑賞し、利用者自身も参加する。計6日間で延べ参加利用者109名が参加。	○
ゆず湯	12/20-26	施設浴槽内に地域の方や利用者からの寄付のゆずを入れ、ゆず湯を提供。計6日間で延べ対象利用者87名が参加。	○
お囃子見学	1/6	新年の定例行事である地域のお囃子の見学を行う。 地域住民9名、参加利用者19名。	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
星が丘フェスティバルへの参加	10月22日	地域包括支援センターの出店ブースの協力を行い、同時にデイサービスパンフレット等の配布を行う。	◎
星が丘地域包括支援センターへの協力	平日	平日の朝8：30～のラジオ体操の場の提供を行う。	◎

5　利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	・利用者の満足度の達成度は101.6%であり、評価基準「A」評価とした。 ・基本的な感染症対策を講じながらも、達成度を高い水準で維持しており、特に職員に大切にされていると感じられるかの項目については、満足の内訳が高まっている点が評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	法人独自の無記名アンケートを期間中実績のある利用者52人に配布し、回収は43人（回収率82.69%）。実績値（満足度）は次の計算式により求めた値。「事業所に対する評価の全設問（39問）の合計点÷（最大点数（3点）×全設問の有効回答数）×100」 ※配点:満足3点/まあ満足2点/やや不満1点/不満0点/該当なし・無回答は採点の対象外。
目標値の基準	平成２９年度から令和３年度に実施した５年間の各市立デイサービスセンターにおける利用者満足度調査の実績値の平均

項目（単位）	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
目標値（%）	89.1	89.1	88.3	88.3	88.3
実績値（%）	92.5	90.5	89.5	89.7	
達成度（%）	103.8%	101.5%	101.4%	101.6%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	利用者・ご家族・訪問者からの意見を常時募集。玄関に設置。

6　施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	・経営状況に若干の懸念があり、施設の全体収支、事業収支ともに赤字のため、評価基準により「C」評価とした。

施設の収支概要　※直近3年間について記載　（千円）

項目	令和３年度	令和４年度	令和５年度
収入　（a）	47,531	51,025	56,141
介護報酬等	37,826	39,579	45,436
利用者負担金等	9,180	9,640	10,121
その他の収入	525	1,806	584
支出　（b）	58,630	69,424	63,183
人件費	39,559	45,471	43,113
事業費	10,984	12,614	11,312
事務費	8,086	11,244	8,757
その他支出	1	95	1
本体事業収支　【(a)-(b)】(c	-11,099	-18,399	-7,042
自主事業収入　（d）	0	0	0
自主事業支出　（e）	0	0	0
自主事業収支　【(d)-(e)】(f	0	0	0
事業活動収支　【(c)+(f)】(g)	-11,099	-18,399	-7,042
施設整備等収入（h）	0	0	0
施設整備等支出（i）	523	22	0
施設整備等収支　【(h)-(i)】(j)	-523	-22	0
その他収入（k）	89	0	5
その他支出（l）	3,501	384	396
その他収支　【(k)-(l)】(m)	-3,412	-384	-391
全体収支　【(g)+(j)+(m)】	-15,034	-18,805	-7,433
備考	▽前年度との比較　事業活動収支差額のマイナス幅の減は、利用率の増加によるもの ▽収入(その他)　支援金355,000円、物価高騰対応支援金165,000円を含む		

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。

7　管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和6年3月25日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	

加点事由	具体的内容

8　ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×

その他取り組んでいること	

9　指定管理者の自己評価

対前年比で延べ利用者数は増加となっています。新規利用者の受け入れ数は、前年よりも６名程度減少しているが、終了者も前年と同数の6名程度の減少であるため、実利用者増は前年比との変化なしとなっています。前年度同様に、終了者を上回る新規利用者の獲得ができています。これは平成28年度、令和4年に続き、2年連続のこととなります。　中重度比では年間実利用者で34.05%であるが、年度後半より中重度比が上昇しており、中重度以上の方の利用ニーズが一定数を満たしている状況と考えられます。
経営状況では、収入面では利用者数の増加により収入増となっています。支出面では派遣職員を終了し直接雇用職員の採用などを行いましたが、年度途中からであることや専門的な職種については引き続き、派遣職員の採用を継続しているため若干の支出減少となっています。引き続き赤字体質での経営状況となっています。適正な人員配置、利用者数に見合った適正な人員配置を行います。　新型コロナウイルスは５類感染症へ移行して感染対策は徐々に緩和していく中での活動でしたが、機能訓練外出などの外出系の活動を積極的に行っています。前年度に引き続き利用者の機能面や体力面での低下を予想以上に感じる結果となり、改めて機能訓練の必要性を実感しました。また、創作活動でも多様な作業工程のものを小グループで取り組み、役割分担することにより個々の利用者が主体的に行えるようになり、得意とすることを整理しながらその方にあった活動が提供できていました。スピーディーな窓口対応や柔軟な受け入れ体制を整え、新規利用者を安定的に確保すると同時に、複数回利用を無理なく勧め、稼働率の向上と在宅生活支援を行っていくこと、そして適正な人員配置を行うことが最重要課題となっています。

10　所管課意見

基本的な感染症対策の取組と並行しての、施設廃止に向けての準備などに対応する中、利用者の機能面や体力面の向上を目的した機能訓練プログラムに季節感や利用者自身の楽しみを意識しながら実施していただいたことに、所管課として大変感謝している。
引き続き、利用者個々の特性を考慮しながら、安心して楽しんで通える場であるよう人員配置やサービス内容の検討を行っていただきたい。

11　選考委員会意見

・機能訓練においては、小グループ制や役割分担など個々の利用者の主体性を意識した内容となるよう工夫が見られ、利用者の満足度の高い水準の維持につながっていると推察される。引き続き取り組んでいただきたい。
・経営に当たっての財務状況については、健全経営・健全運営を目指して取り組んでいただきたい。
・地域包括支援センターと連携し、活動や事業周知をする他、ラジオ体操の場を提供していることは、地域住民との交流、施設を知っていただく機会になり、評価している。
・利用者の満足度については、僅かな人数だが低い評価をしている項目は、何が原因か職員間で話し合うことが大切だと考える。また、満足度の高い評価を、職員間で共有し、モチベーションのアップ、更なるサービスの向上につなげていただきたい。
・ライフヒストリーや日常的なかかわりの中から、ニーズを把握することは重要だと考える。把握したニーズの解決に向け、関係機関と連携し取り組みを進めていただきたい。また、その人の強みを活かした、地域での縁づくりにも期待している。
・施設廃止に向けて、引き続き、利用者やその家族に寄り添った対応に努めていただきたい。今後は個別に運営している施設等において、これまで指定管理者として培った経験を十分に活かし、利用者が安心して地域で暮らし続けられるよう取り組んでいただきたい。

総合評価（自動判定）

B

（55/100）

